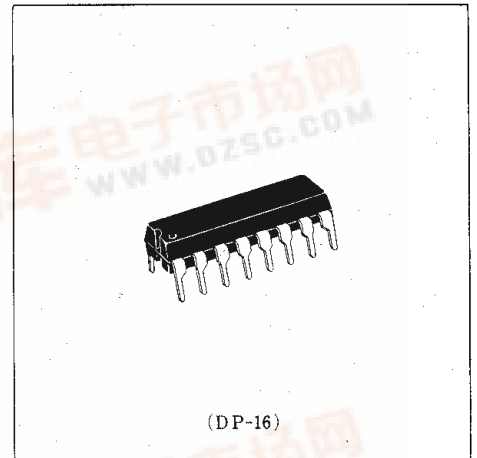


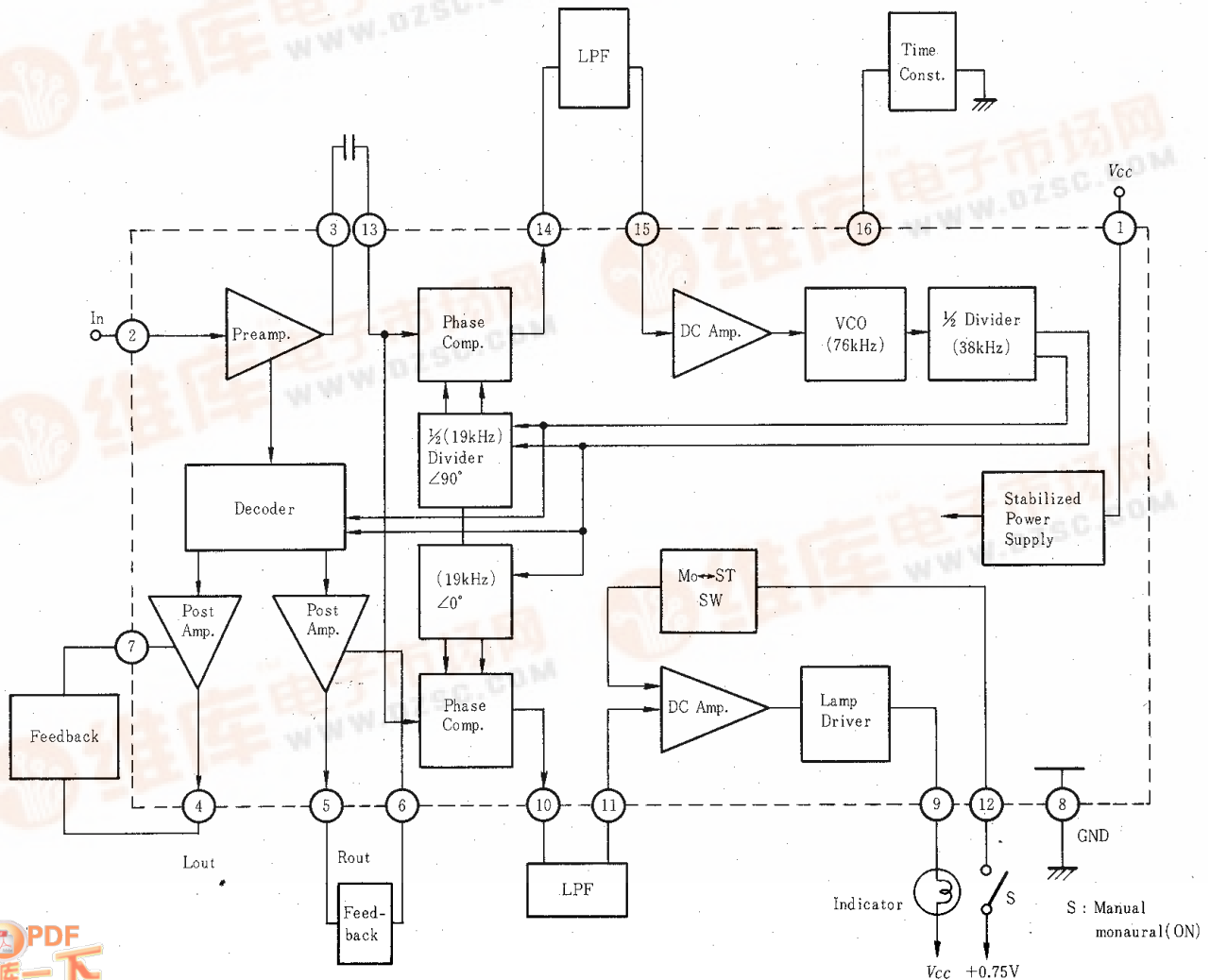
## PLL FM Stereo Demodulator

### ■特長

- PLL方式のFMステレオ復調回路です。
- 外付部品数が少なくてすみませす………コイル不用
- ステレオ復調, ステレオ/モノラル自動切換, ステレオ表示ランプの機能を含むトータルシステムです。
- 分離度調整が可能で分離度が高くとれます。
- 新回路によりステレオ, モノラル動作中の高調波歪率が低くなっています。
- ステレオ動作と表示ランプが完全に同期しています。
- 出力電圧が大きくなっています。
- 高域のステレオ時高調波歪率が低くなっています。
- ステレオ, モノラル切換時のショックノイズが低くなっています。



### ■ブロックダイアグラム



■絶対最大定格 ( $T_a=25^{\circ}\text{C}$ )

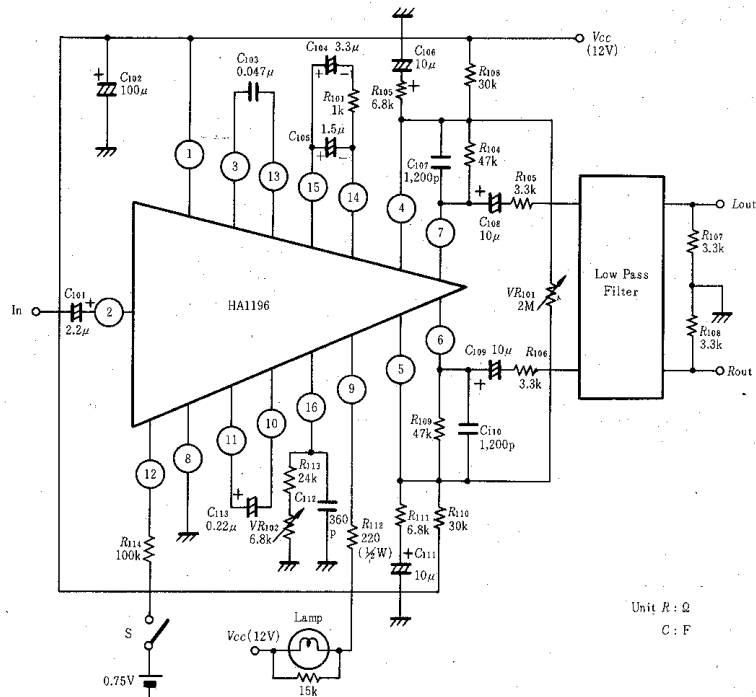
項目	記号	定格値	単位
電源電圧	$V_{CC}$	15	V
ランプ駆動電流	$I_L$	75	mA
許容損失*	$P_T$	490	mW
動作温度	$T_{opr}$	-20~+70	$^{\circ}\text{C}$
保存温度	$T_{stg}$	-55~+125	$^{\circ}\text{C}$

\*  $T_a=70^{\circ}\text{C}$  における許容値

■電気的特性 ( $V_{CC}=12\text{V}$ ,  $f=1\text{kHz}$ ,  $T_a=25^{\circ}\text{C}$ )

項目	記号	測定条件	min	typ	max	単位	
入力インピーダンス	$Z_{in}$		—	75	—	k $\Omega$	
チャンネル分離度	$S_{ep}$	$P=20\text{mV}$ , $L+R=180\text{mV}$ , $V.C.O \text{ freq}=76\text{kHz}$	$f=100\text{Hz}$	—	42	—	dB
			$f=1\text{kHz}$	40	55	—	
			$f=10\text{kHz}$	—	42	—	
ステレオ高調波歪率	$ST. THD$	$P=20\text{mV}$ , $L+R=180\text{mV}$ ( $L+R=45\%$ , $L-R=45\%$ , $P=10\%$ )	$f=100\text{Hz}$	—	0.1	—	%
			$f=1\text{kHz}$	—	0.1	0.3	
			$f=10\text{kHz}$	—	0.15	—	
出力電圧	$V_{out}$	$V_{in}=200\text{mV}$	—	1.2	—	V	
チャンネルバランス	$C.B$	$V_{in}=200\text{mV}$	-1.5	0	1.5	dB	
モノラル高調波歪率	$Mono. THD$	$V_{in}=200\text{mV}$	—	0.05	0.25	%	
キャリアリーク	$C.L$	$P=20\text{mV}$ , $L+R=180\text{mV}$	$f=19\text{kHz}$	—	30	—	dB
			$f=38\text{kHz}$	—	30	—	
S C A 除去比	$SCA R_{ej}$	$P=20\text{mV}$ , $L+R=180\text{mV}$ , $SCA=20\text{mV}$ , $f_{SCA}=67\text{kHz}$	—	75	—	dB	
パイロットランプ点灯レベル	$L_{(CON)}$		4	7	13	mV	
ステレオランプヒステリシス			—	6	—	dB	
キャプチャレンジ	$C.R$	$P=14\text{mV}$	—	$\pm 3$	—	%	
信号対雑音比	$S/N$	$V_{in}=200\text{mV}$ , $R_g=4.7\text{k}\Omega$	—	80	—	dB	
電源電流	$I_T$	ランプ OFF	—	17.5	—	mA	
許容入力レベル	$V_{in}$	モノラル $THD=1\%$	—	400	—	mV	
ステレオ/モノラル切換時 スレッシュホールド電圧		ランプが OFF する端子⑫電圧	—	0.55	—	V	

■測定回路



Unit R:  $\Omega$   
C: F